

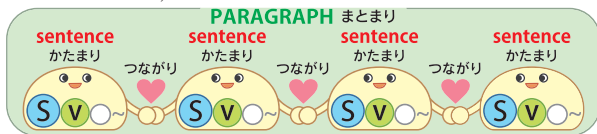
バランスのとれた英文を書くために

読み手が理解しやすいバランスのとれた英語の文章を書くためには、日本語を書く場合とは違った心構えが必要です。日本語の発想のまま単純に単語を1つ1つ日本語から英語へと置きかえるだけでは不十分です。英語には日本語とは異なった論理があることを意識し、読み手が英文の内容をスムーズに理解できるように配慮する必要があります。

英語として自然な文を書くために、以下のようなことを心にとめておきましょう。

1. 文(sentence)とパラグラフ(paragraph)

英文を書くときには、文(sentence)とパラグラフ(paragraph)という2つの単位を意識する必要があります。文は大文字で始まりピリオドで終わる1つの「かたまり」であり、文と文とは強い「つながり」が必要です。また、パラグラフは1つまたは複数の文からなり、1つのメッセージを伝える「まとまり」です。



(1) 文(sentence)という「かたまり」

文(sentence)は「主語」と動詞を中心とする「述部」からなり、基本は「誰が・何が」「どうする・どうである」という形をとります。文は1つの「かたまり」であり、1つのアイデアを伝える単位です。1つの文に過剰に多くの情報を入れてしまうと、読みにくい文になります。

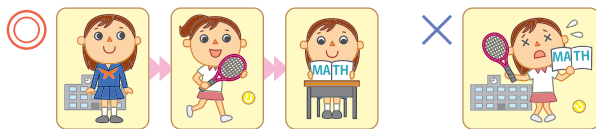
○ Mami is a high school girl. She likes tennis and belongs to the tennis team in her school. Her favorite subject is mathematics and ...

「マミは女子高生です。彼女はテニスが大好きで、学校のテニスチームに所属しています。彼女の好きな教科は数学で…」

※代名詞を使ってさまざまな表現を用いて文を分割し、1つの文に入れる情報が絞られているので、読み手は内容がスムーズに理解できます。

× Mami is a long-haired high school girl who belongs to the tennis team in her school and who is good at mathematics.

「マミは学校のテニス部に属する数学が得意な髪の毛の長い女子高生です。」



※ girl が形容詞句と2つの関係詞節に修飾されていて、それぞれが「髪が長い女子高生」「学校のテニスチームに属している」「数学が得意」という無関係の情報を示しているため、読み手は内容が理解しにくいです。